

竹早だより

平成28年度12月号
平成28年12月22日
東京都立竹早高等学校
文京区小石川4-2-1
電話03(3811)6961

合唱コンクール

校長 高田 純一

12月21日(水)平成28年度「合唱コンクール」を実施しました。どのクラスも日ごろの練習の成果を発揮し、素晴らしいハーモニーをアリーナに響かせてくれました。今回は、ピアニストの三木 蓉子先生を審査員としてお迎えしました。三木先生からは、専門的かつ真心のこもった講評をいただきました。三木先生に心より感謝申し上げます。多くの保護者の皆様にもご来校いただき、生徒の歌声に耳を傾けていただきました。

さて生徒の皆さん、長かった2学期も今日で終わりです。今年の冬は終業式と始業式の間が18日もある「夏休みの半分」に匹敵する長い休みです。1・2年生は集中して勉強に取り組み、1月模試で皆をアツと言わせる程のすごい成績をたたき出しましょう。

3年生は「第一志望は諦めない」「E判定などに負けない」「現役は直前まで伸びる」といった金言を信じて粘りに粘ってほしいと思います。努力の向こうに春が見えます。

それでは皆さん、よいお年をお迎えください。



<優勝> 2年C組「はじまり」



<準優勝> 1年F組「愛をこめて花束を」



<第3位> 1年B組「ヒカリ」



<審査員特別賞> 2年B組「走る川」

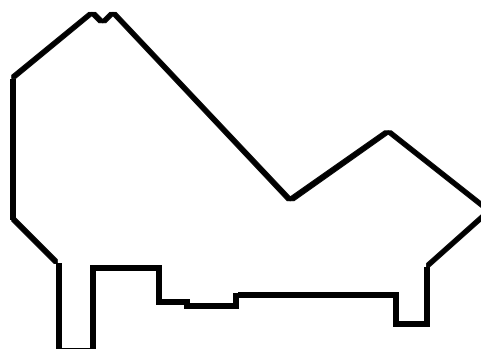
お年玉「発想力クイズ」～年末年始は、この問題で頭を柔らかく！～

右の図は、竹早高校の敷地の形を表しています。これが何に見えるか考えましょう。センスのあるユニークな解答を期待します。（解答例は次号）

《ヒント》

単純な平面・断面図ではなく、立体をある方向から見たシルエットと捉えた解答を高評価します。

例えば六角形は「六角凧」と見るより「サイコロ」と見る方が高評価です。



《敷地問答》

先生 竹早高校の敷地は実に変わった形をしているよね。世の中に2つとないものだね。

生徒 何の形かなあ……。でも、不思議なことに毎日暮らしていても違和感ないですよ。

先生 それはね、竹早高校の校舎が建築物として大変優れているからだよ。敷地の制約、

法令の制約、予算の制約という3つの制約をかいくぐり、施主（都・学校）の要望を最大限に生かして、機能的で安全で、しかも、洗練されたデザインになっている。

特に校舎とプールに挟まれた鋭角の土地は、そのままではデッドスペースになってしまうところを「サンクンガーデン」（沈床庭園）として見事に生かしているね。

生徒 確かに、体育と芸術の施設を全部まとめて、その上をグラウンドにしているなんて他に見たことないですよ。考えた人は、本当にすごいですよね。

先生 私もねえ、40年前にこの建築に出会っていたら、人生変わったかも知れない。

今ごろは「21世紀のル・コルビュジエ」なんて呼ばれていたかも知ね。アハハハ。

生徒 先生、「人生にタラレバはない」は、先生自身の口癖ですよ！

12月・1月の主な行事予定

〈12月〉

22（木）終業式

23（金）**天皇誕生日**

26（月）冬季休業日始



〈1月〉

1（日）**元旦**

2（月）**振替休日**

7（土）冬季休業日終

9（月）**成人の日**

10（火）始業式・課題テスト①②

14（土）大学入試センター試験始

15（日）大学入試センター試験終

17（火）修学旅行②始

20（金）修学旅行②終

26（木）都立推薦入試始

27（金）都立推薦入試終

30（月）模擬試験①②